

食生活ジャーナリストの会(JFJ)

——ジャーナリスト・池上彰氏と考える——

第 19 回公開シンポジウムのご案内

そうだったのか！ キューバと北朝鮮の農業

平成 22 年 1 月 24 日(日)14 時～
東京ウィメンズプラザ大ホール

【企画趣旨】

日本の農業が転換点にある現在、農業のあり方がさまざまに模索されています。

世界に目を向けると、人口の急激な増加、農地面積の限界、水資源の減少などが深刻です。過去においては、人類は同様の問題を科学技術の発達、たとえば、肥料や農薬を開発して単位面積あたりの収穫量を増やすことなどによって、何とか解決してきました。

しかし、ここにきて、それも限界に達していると指摘されています。すでに、深刻な飢餓状態が、地球の至る所で、貧困層だけにではなく中間層にまで広がりつつあります。

一方では、高くても安全で安心な食料を求める人たち、あるいは、食べ過ぎが原因で病気になる人たち、まだ食べられる食料を廃棄してしまう人たちもいて、食料問題はきわめて複雑化しています。

ジャーナリストの池上彰氏は、世界中を駆け巡って取材し、さまざまな問題をきわめてわかりやすい言葉で、私たちに紹介しています。

キューバ共和国は、世界で唯一「有機農業を実践し成功させている国」といわれています。日本とは国家体制も民族も経済力も気候もまったく異なる国・キューバの農業や食料事情はどうなっているのか？ “先進国”といわれている日本が、発展途上と評されている国から学ぶべきことはないのか？

また、キューバと同様に自由経済の国ではない北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の農業や食料事情はどうなっているのか？ キューバと北朝鮮ではどこがどう違うのか？ なかなか情報が入ってこない両国を、実際に訪問取材した池上氏が、だれにでもわかる言葉で報告します。

<ご参加ください！> JFJ 主催の年 1 回の公開シンポジウムです。どうかご参加の程、お願い申し上げます。

●農政ジャーナリストの会会員さま出欠席返信用●

J F J 事務局メール jfj-shoku@t-net.ne.jp

FAX 042-554-3887 JFJ 事務局 行き

.....
食生活ジャーナリストの会（J F J） 第 1 9 回公開シンポジウム

そうだったのか！キューバと北朝鮮の農業

.....
誠にお手数ではございますが、平成 22 年 1 月 8 日（金）までに、F A X またはメールにて出席・欠席にかかわらず、ご返信いただければ幸いです。どうかよろしくお願い申し上げます。なお、住所そのほかの個人情報は、J F J 主催の勉強会・シンポジウムに限定して使用させていただきます。

ご出席 ・ ご欠席

社名	
所属	
お名前	
住所	
メール アドレス	

お問い合わせ：食生活ジャーナリストの会事務局

（メールアドレス） jfj-shoku@t-net.ne.jp （Fax） 042-554-3887